

英語科学習指導案

令和7年6月25日(水)6校時

1年C組 36名

指導者 白根 和延

1 単元名

Lesson2 My Hero

「マチュー先生とクラスメイトに自分のことをもっと知ってもらうために自分のヒーローを紹介しよう」

2 単元設定の理由

(1) 教材について

- ・本単元では、登場人物が好きな有名人を発表し合ったり、趣味について話したりする場面で構成されている。第三者の人物や事物について説明したり、尋ねたりするのに適した題材である。
- ・文法事項としては、主語が三人称単数の場合の be 動詞と一般動詞の平叙文・疑問文及び助動詞 can を用いた平叙文・疑問文を学習する。これらの用法を習得することで、学習者は、三人称の人物や事物について相手に詳しく説明したり、質問をしたりすることが可能となり、学習者のコミュニケーションの幅を大きく広げることができる。
- ・単元末にあこがれの人物や心の支えとなっている人物などを「ヒーロー」と称し、ALTとクラスメイトに発表する活動を設定することで、事実や自分の考え、気持ちなどをまとまりのある英語で発表する力を身に付けさせたい。また、学習指導要領の1目標(4)話すことイ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようになる。」指導と位置付ける。

(2) 学習者について

- ・学習者はクラスメイトやALTとコミュニケーションを図ることに前向きである。また、前単元にて「ALTに覚えてもらえる自己紹介をしよう」の目標の下、be 動詞と一般動詞の平叙文で自分自身のことを発表する力を高めた。“He can play soccer.”など、本単元での新出言語材料を用いた英文を、小学校の授業で決まったフレーズとして覚えている学習者は多いが、文構造を文法的に十分理解してはいない。また、3人称単数の人や物について一般動詞の平叙文で表現することは小学校で学習していない。
- ・学習者は Lesson1 にて、「Opening-Body-Closing」の形で内容を伝達することが英語らしく、また相手に分かりやすい構成であることを学んでいる。
- ・前単元にて、自分について知ってもらうために、好きな有名人などについて既習の言語材料を用いて発表している学習者が一定数見られ、第三者の人物や事物についてより詳しく表現できるようになることを望んでいる。

(3) 指導について

- ・単元のゴールに「自分のことをもっと知ってもらうために ALT とクラスメイトに自分のヒーローを紹介する」という目的・場面・状況を設定することで、学習者が主体的に新出言語材料を使用することを促す。
- ・Lesson1 で学習したOBCの文構成を学習者に想起させ、聞き手に分かり易いまとまりある文構成を心掛けさせたい。また、目的・場面・状況に適する発話内容について吟味させて相手意識のある英語表現をさせたい。
- ・Lesson1 では ALT に対して発表したのに対し、本単元ではクラスメイトに向けても発表するので、聞き手が理解しやすい単語を選んだり、難しい単語についてはジェスチャーやスライドを示して発表したりする工夫をさせたい。また、前単元で ALT から講評として指導されたアイコンタクトやジェスチャーにも意識的に取り組ませたい。

単元プランシート(英語科 1年)

実施時期6月

単元名		Lesson2 My Hero		
単元の目標		'マチュー先生とクラスメイトに自分のことをもっと知つてもらうために自分のヒーローを紹介しよう'		
		マチュー先生とクラスメイトに自分のことをもっと知つてもらうために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようする。 (4)話すこと[発表] イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようする。		
評価規準	知・技	① 主語が3人称单数の時のbe 動詞や一般動詞の現在形の文及び助動詞 can を用いた文の構造を理解している。 ② 主語が3人称单数の時の be 動詞や一般動詞の現在形の文及び助動詞 can を用いた文の構造の理解を基に、自分のヒーローについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている。	知・技	思・判・表
	思・判・表	①マチュー先生とクラスメイトに自分のことをもっと知つてもらうために、自分のヒーローについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	思・判・表	主体
	主体	①マチュー先生とクラスメイトに自分のことをもっと知つてもらうために、自分のヒーローについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。	主体	主体

時間	学習内容	評価計画(●形成的評価・○総括的評価)		
		知・技	思・判・表	主体
1	単元のゴールを知る 「Lesson2 のゴールを知り、見通しをもとう」			
2	ゴールアクティビティの目的・場面・状況に沿う発表内容について考える 「現段階での自分たちだけの力で原稿を書こう」			
3	助動詞 can を用いた文の文構造を知る 「can の文の構造を理解しよう」	①ワークシート		
4	主語が3人称单数の平叙文・疑問文の文構造を知る 「第3者についての表現方法を理解しよう」	①ワークシート		
5	Lesson2 の学びをもとに、原稿作成を進める 「Lesson2 で学びをもとに原稿の大枠を完成させよう」	①ワークシート		
6	相手意識ある発表内容について考え、原稿を修正する 「原稿の内容を見直そう」		①行動観察	①行動観察 ワークシート
7	発表原稿の完成を目指す 「原稿の完成を目指そう」		①行動観察	①行動観察 ワークシート
8	発表原稿を完成させる 「原稿を完成させよう」		①行動観察	①行動観察 ワークシート
9	発表練習をする 「本番に備えて発表練習をしよう」	②行動観察	①行動観察	①行動観察 ワークシート
10	パフォーマンステストを行う 「自分のヒーローを紹介しよう」	②行動観察	①行動観察	①行動観察 ワークシート
11	パフォーマンステストを行う 「自分のヒーローを紹介しよう」	②行動観察	①行動観察	①行動観察 ワークシート
12	・ペーパーテストを行う	①ペーパーテスト		

評価基準(思考・判断・表現について)	
B	A
自分のヒーローの魅力(職業・特徴・能力・功績など)に触れながら発表をしている。	自分のヒーローの魅力(職業・特徴・能力・功績など)に触れながら発表をしているのに加えて、ヒーローと自分との関係性、ヒーローに対する思い、ヒーローである理由など、自分自身に関する情報もふくめて発表している。

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(6/12)

(2) 題材 NEW CROWN I Lesson2 My Hero

(3) 本時のねらい

自分の発表内容を、ALT が求めていることを再確認したり、原稿例の改善点を話し合ったりする活動を通して、見直すことができる。

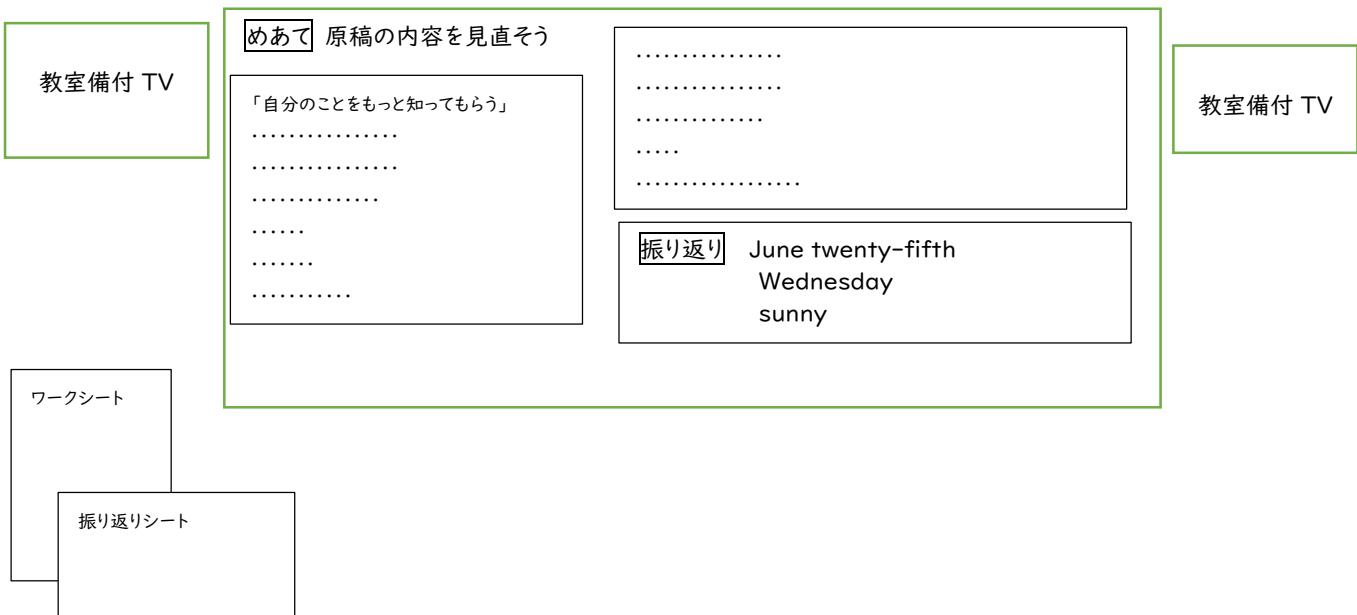
(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	備考
6	1.新出単語を覚える	○ペアでクイズを出し合わせる。	
1	2.本時のめあてを知る	○本時のめあてを共有する。 原稿内容を見直そう	
7	3. ALT が求めていることを確認する	○単元初めに視聴した ALT からのビデオレターを再視聴させる。 ・「自分のことをもっと知ってもらうため」という目的を再確認させる。 ○単元初めに発表内容の方向性についてクラスで話し合った時の板書を CB で見させる。 ・発表の方向性が目的に沿うかどうかペアで改めて話し合わせる。 ・話し合わせた後、意見を発表させる。 ・出された意見は板書する。	
10	4. 原稿例の改善点について考える	○原稿例の改善点をペアで話し合わせる。 ・テレビに原稿例を映し出す。 ・「自分のことをもっと知ってもらう」という目的に沿うかどうか、という観点で改善点や代案を考えさせる。 ・話し合わせた後、意見を発表させる。 ・出された意見は板書する。	
10	5. 発表原稿を修正する	○個人で原稿を加筆修正させる。 ・初めは個人で自力で書かせる。 ・過去の文法プリントも参考にさせる。 ○班を作らせ、原稿を加筆修正させる。 ・班員に聞いてもわからない単語や表現等は CB 等で調べさせる。	
10	6. 修正した原稿をペアに発表する	○ペアで発表の練習をさせる ・聞き手には「より発表者の理解が深まる内容か」という視点で聞かせ、感想を言わせる。 ・複数回、ペアを変えて練習させる。 ○上手く英語にできなかった日本語をいくつか全体で考えさせる。	評価[思判表①] 行動観察
6	7. 振り返りをする	○本時のめあてに対しての振り返りを書かせる。 ・「どのように原稿を修正したか」や「これからどのように原稿を修正していきたいか」について書かせる。	評価[主体①] ワークシート

(5) 努力を要する生徒への配慮

- ・内容の方向性について話し合う際に、クラスから出された意見を板書に残すことと、見返すことができるようになる。
- ・ペアや班で話し合い、他者から学ぶ時間を設定する。

(6) 学習記録計画



(別紙) 期待する生徒の原稿例

評価基準(思考・判断・表現について)	
B	A
<p>自分のヒーローの魅力(職業・特徴・能力・功績など)に触れながら発表をしている。</p>	<p>自分のヒーローの魅力(職業・特徴・能力・功績など)に触れながら発表をしているのに加えて、ヒーローと自分との関係性、ヒーローである理由など、<u>自分自身に関する事実</u>などふくめて発表している。</p>
<p>Hello! I'm Kazu. I will tell you about my hero.</p> <p>My hero is Darvish Yu. He is a major leaguer. He is in San Diego Padres. He can throw a very fast ball. He can throw an amazing breaking ball too. He is amazing. I like him. Please watch his video.</p> <p>Thank you very much.</p>	<p>Hello! I'm Kazu. I will tell you about my hero.</p> <p>My hero is Darvish Yu. He is a major leaguer. He is in San Diego Padres. <u>I am in the baseball club at school.</u> <u>I am a pitcher.</u> <u>And he is a pitcher too.</u> <u>He is my favorite player.</u> He can throw a very fast ball. He can throw an amazing breaking ball too. He is amazing. <u>I want to be a pitcher like him.</u> <u>Please watch his video.</u></p> <p>Thank you very much.</p>